

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

梅雨時の開催 (悦)

梅雨明け前の蒸し暑い日。天気予報も二転三転。7日の下見の日の夕方は茅野市は豪雨。こんなことにならないようにハラハラものでした。心配でちょっと瘠せたか？

しかし、本番はまずまずの天気。体調不良の方、お出かけの方などいらっしゃり、参加者は総勢10名でしたが、少数精鋭？昆虫が一番活動的なこの時期、貴重な観察ができましたよ。参加できなかった方は残念でした。

盛りだくさん (秋)

木々の間を飛び交うオオムラサキやムラサキシジミ、意外と甘酸っぱく美味しいニガイチゴ、まるでお祭りの仮面のような、オーバーな角を振り回すアワブキの葉裏のスミナガシの幼虫、足元にひっそりと咲くミドリヒメザゼンソウ、吉田山はもう夏真っ盛りでした。 ミドリヒメザゼンソウ



スミナガシ (小原) 写真 e

スミナガシの幼虫が、今日は1齢から終齢を見ることができ、とても嬉しかった。ドラゴン型(3齢?)もすごい!!



1齢幼虫

3齢幼虫



5齢幼虫

ヤママユの幼虫は、すばらしく美しい！イモムシ好きになりそうかな？



ヤママユ幼虫

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市観光案内所 (茅野駅ビル2F)
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 ☎: 0266-75-1772

7月に開花していた花たち (悦)

一年で、一番花が多種見られる時期と感ずります。

- ✿ ミドリヒメザゼンソウ→ガイドブック②83
- ✿ チドメグサ→②81
- ✿ クモキリソウ→①94 テリハノイバラ
- ✿ ダイコンソウ→①86
- ✿ ミヤコグサ→①82
- ✿ サワギク→①87
- ✿ ジシバリ→①70
- ✿ イチヤクソウ→①94
- ✿ テリハノイバラ→①85
- ✿ ドクダミ→①95
- ✿ ヤマトツナミソウ→①84
- ✿ ウツボグサ→①90
- ✿ ムラサキシキブ→①78



e

シジミチョウ (Meiko)

色々なシジミチョウを楽しめました。



アイノミドリシジミ



ムラサキシジミ



ウラゴマダラシジミ

本日出会った昆虫 (馬)

<蝶・蛾>

- アサギマダラ ②117
- ミドリヒョウモン♂♀ ②113



- メスグロヒョウモン♂ ②113
- ヒメウラナミジヤノメ ②115
- エルタテハ 成虫 蛹 ②112



e

- クロヒカゲ ②116
- オオムラサキ ②114
- ゴマダラチョウ ②115
- コミスジ ②115
- ミスジチョウ ②115
- イチモンジチョウ ②114
- アカシジミ ②110
- ウラマダラシジミ ②110
- アイノミドリシジミ
- ムラサキシジミ
- キタキチョウ 成虫・卵 ②110



メドハギの葉の上 e

- モンキチョウ♂♀ ②110
- クスサン 幼虫 ②119
- ヤママユ 幼虫 ②119
- <他昆虫>
- オオスズメバチ
- クマバチ
- シオヤトンボ♀ ②128

市民の森「アブラムシ」わがまま図鑑③(矢)

ミツバウツギフクアブラムシ



特徴:体色は橙黄色で白い粉をまぶしたよう。
宿主植物:市民の森水車小屋横のミツバウツギで毎年見られる。

お勧めP.:大きい種なので、産仔を観察してみましょ。カンゾウなどに居るキスゲフクアブラムシとそっくりだが、角状管の形状が少し異なる。角状管とは、尾片の両側にある二本の器官で外敵接近を仲間に知らせる警戒ホルモンを出すところ。

◎トリカブトフクアブラムシの産仔



色々 (そ)

下界は真夏日の中、涼しい森の中を気持ちよく歩きました。

- ミドリヒメザゼンソウの花が、とても小さくかわいく、けなげでした。
- 今日は、チョウにたくさん会えてうれしかったです。特に、**ミドリシジミ**の色が素晴らしかった。
- スミナガシの幼虫は、どう見ても、いつ見ても、ドラゴン、すごいです。

蝶日和 (吉)

今日は蝶々日和でした。訪れるたび現れる種が変わり、蝶々の時期は楽しいものです。植物たちも日々景色を変え、定期的に市民の森を散策する楽しみを味わえた1日でした。



ヤマタツナミソウ



ミドリヒョウモン (悦)
崖のコンクリートタイルの間隙から染み出る水など、あちこちでミドリヒョウモンが群れているのが見られる。

ミヤコグサ (悦)

頂上広場に黄色の絨毯が敷かれる季節になった。ガイドブック@20一年のうち、ほんの一時期しか見られない光景はたくさんあります。たまたま、それに遭遇したらラッキーです。



吉田の山は元気だね (小口)

- 「ヤマナラシ」の木の名付に納得、風が吹いた時に聞いてみたいですね。
- ほんとに小さな「ヒメザゼンソウ」。食べられる事を拒むような「エビガライチゴ」
- 沢山の蝶々やイモムシも発見。「スミナガシ」の幼虫に威嚇されたけれど可愛かったな
- 「ヤママユ」の幼虫? コロコロとビックサイズ

吉田の山は元気だね

エビガライチゴ



ドクダミの季節 (悦)

毎年、忘れることなく決まった所にドクダミが咲きます。真っ白な総苞(花びらではないらしい)が、アイロンが効いた真っ白なシャツを連想する。



下見時のラッキー (悦)

下見の時に、羽化したばかりのテングチョウが蛹の殻にとまり、翅を乾かしていましたよ。

